

令和5年度 第2学年 授業改善推進プラン

台東区立忍岡小学校

1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 ・相手が知らせたいことを集中して聞き、相手の発言を受けて話をつなぐこと。 ・日常的に読書に親しむようにすること。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・数のまとまりに着目し、加法、減法、乗法の計算を行うこと。 ・計算の意味と方法について、根拠を基に自分の考えを説明すること。 ・日常生活のいろいろな場面で数的処理を活用すること。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・語句相互の意味関係を理解し、話や文章の中で活用できる力 ・日常生活における人との関わりの中での伝え合う力 ・言葉がもつよさを感じ取る力 	<ul style="list-style-type: none"> ・同義語・類義語・対義語など相互に関係のある語句に着目しながら語句の量や範囲を広げ、話したり書いたりできるようにする。 ・ペア学習やグループ学習を計画的に位置付け、相手の話を聞き取ったり、自分の考えを表現したりできるようにする。 ・学校図書館司書との連携や読書貯金の活用を図り、読書を通して、新しい知識を獲得したり、物語の世界を疑似的に体験できる読書の楽しさを感じとったりできるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・数のまとまりに着目し、計算の意味や方法を考える力 ・自分の思考過程を、根拠を基に表現する力 ・学習内容を生活や学習に活用しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・加法、減法及び乗法の計算方法について、ブロックを操作したり、図に書いたりする活動を通して、自分の考えをもつことができるようにする。 ・計算カード練習を毎日の家庭学習に位置付け、計算を正確に早く処理できるようにする。 ・問題解決の場面において、自分の思考過程を数の仕組みや図形の構成要素、事象の特徴のデータ化等、根拠を基にして表現させるようにする。 ・買い物遊びやかさ当てゲーム等、既習内容を活用した遊びを行い、数理的な処理のよさに気付き、楽しさを感じながら学びを深められるようにする。